

廃棄物

施策	取組概要
ごみ処理施設の燃料消費量の削減	廃棄物の減量化・資源化に取り組み、ごみ処理施設(焼却工場や最終処分場)における燃料消費量を削減します。
省エネルギー機器の導入	ごみ処理施設の更新時には、高効率発電設備や省エネルギー型機器の導入を推進します。
プラスチックごみ焼却量の削減	ごみ処理部門の温室効果ガス排出量では、プラスチック類の焼却に起因するものが大半であるため、プラスチック製容器包装のさらなる資源化や、製品プラスチックの回収などにより、プラスチック類の焼却量を削減します。
指定ごみ袋へのバイオマスプラの導入	指定ごみ袋等の原材料の一部にバイオマスプラスチックを導入し、焼却時に発生する温室効果ガスを削減します。
廃棄物発電の有効活用	焼却時に発生する熱エネルギーを有効利用して発電し、電力会社等へ売電することにより、発電時に発生する温室効果ガスの削減に貢献します。
一般廃棄物の広域処理	「連携中枢都市圏構想」に基づく北九州都市圏域の枠組みの中で、一般廃棄物の広域処理を進めます。
先進都市の取組事例の注視	2050年に向けた脱炭素社会の実現を見据え、低燃費型の収集運搬車両の導入促進といった先進都市の取組事例を注視します。
焼却工場への新たな技術の導入	2050年に向けた脱炭素社会の実現を見据え、焼却工場から排出されるCO ₂ の分離回収・活用といった新たな技術の導入の検討に向けて、先進都市の取組事例や技術革新の動向に係る調査・研究などを行います。
産業廃棄物処理業界の脱炭素化	産業廃棄物処理業界の脱炭素化に向けて、福岡県産業資源循環協会北九州支部と連携した体制づくりなどを行います。

68

メタン、N₂O、代替フロン類

施策	取組概要
メタン、N ₂ O(一酸化二窒素)の削減	従来から取り組んでいる省エネ対策や廃棄物の3R 推進・適正処理などの対策は、CO ₂ の削減だけではなく、メタンや一酸化二窒素の削減対策としても有効であるため、これらの対策を着実に進めます。
フロン排出抑制法に基づく取組	機器所有者等に対する管理点検の適正化や点検整備の記録作成に関する啓発などの「フロン排出抑制法」に基づく国・県の施策に協力します。
自動車リサイクル法に基づく取組	「自動車リサイクル法」に基づくフロン類回収業者に対して立入検査等を行い、適宜、指導等を行います。

69

森林等による吸収

施策	取組概要
自然環境に関する市民啓発	豊かな自然の恵みを活用し、自然と共生するまちの実現のため、自然環境の保全に関する市民啓発などを行います。
間伐による森林の健全な育成	荒廃する恐れのあるスギ林やヒノキ林について、公益的機能が長期に渡って発揮されるよう、間伐を実施し、森林の健全な育成を行います。
森林整備、森林環境に関する普及啓発	新たな森林経営管理制度による適正な森林整備を行うとともに、林道の整備や放置竹林の解消を図るほか、森林環境に関する普及啓発を実施します。 また、里山林や竹林の整備を行う団体等への支援や、林業の担い手を育成するための事業を行います。
竹の伐採、竹林の利活用の促進	放置竹林の拡大を防止するため、周辺の森林へ侵入した竹の伐採、放置竹林の皆伐及び他樹種への転換を行うとともに、市民参加による竹林管理への助成や竹が資源として活用される循環システムを構築し、竹材の利活用を促進します。
水源地交流事業	本市の水源地の約8割は北九州市外にあり、水源涵養林の保全のため、水源地で実施される植樹等活動に市民ボランティアと参加します。
「北九州市緑の基本計画」の推進	「北九州市緑の基本計画」に基づき、緑地の保全や都市公園の整備などによる都市緑化の推進に取り組みます。
ブルーカーボンの創出	北九州市沿岸域にあるブルーカーボンについて、CO ₂ 固定量を計算するための藻場調査を実施します。

70

人材育成・観光

施策	取組概要
あらゆる世代に向けた環境学習の推進	環境ミュージアム、エコタウンセンター・響灘ビオトープ等の環境学習施設の連携を推進し、各施設の特性を生かした体験型プログラム等の充実を図ることで、成長過程や地域特性に応じた環境保全活動・環境体験を推進します。
環境人材の育成	北九州市民一人ひとりが環境との関わりを理解し、より良い環境・地域づくりへの意識をもって行動を起こすことのできる環境人財を育むため、「環境首都検定」、「こども環境学習」をはじめとする施策に取り組みます。
SDGs教育の推進	北九州市の魅力(産業・環境・歴史・暮らし)に関わるSDGsを踏まえた地域教材資料集を作成し、教材等の学習に活用することにより、シビックプライドの醸成を図ります。
環境活動促進のための啓発・交流【再掲】	市民環境力の向上を目指し、北九州エコライフステージ事業などを通じて、環境活動の情報発信・啓発・交流を行い、市民・NPO・学校・企業などによる環境活動の実践を促します。
ESDの推進	世界規模で進められるESD(持続可能な開発のための教育)を、北九州ESD協議会を中心に、市民・NPO・学校・企業・行政等が連携しながら推進します。
高度な人材育成	北九州市内の再生可能エネルギー関連企業やその他環境関連事業に対する大学生等の関心を高め、地元の就職を促進するためインターンシップや企業見学など産学官が連携した取組を実施します。 地元大学と連携して、今後の脱炭素化技術を支える有能な人財を育成するとともに、地元就職など継続的な人財確保に繋がる仕組みを構築します。
サステナブルツーリズムの推進	サステナブルツーリズムの観点から、食の地産地消や環境産業などのコンテンツを活かした観光誘客を推進します。

71

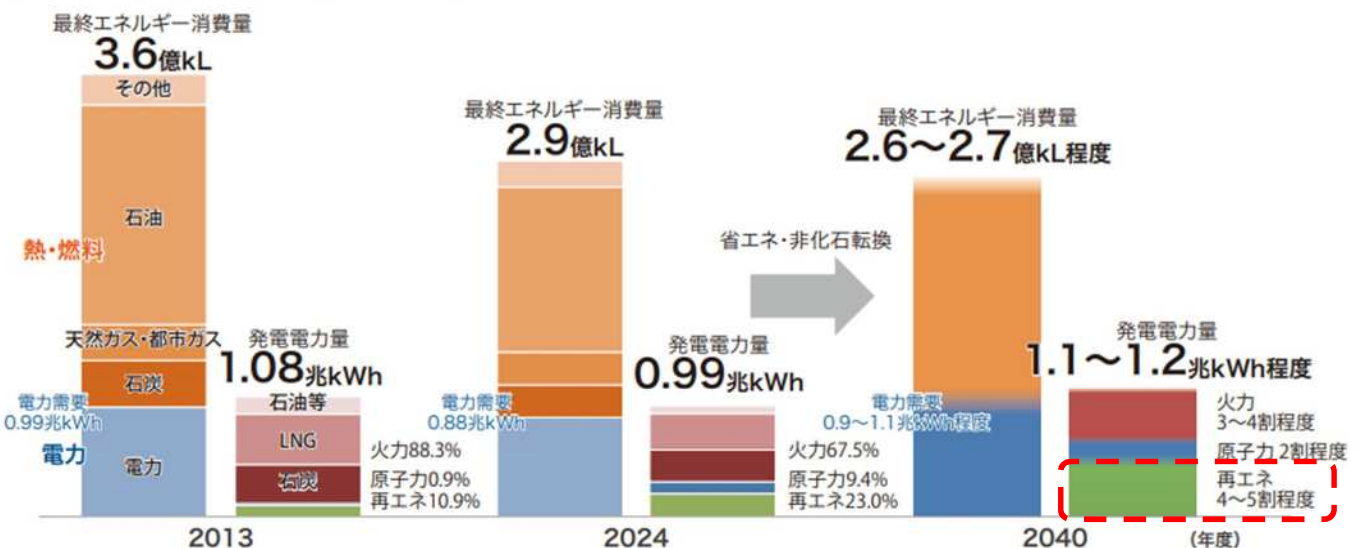
分野横断施策(再生可能エネルギーの導入、循環経済(サーキュラーエコノミー)への移行)

施策	取組概要
第三者所有方式を活用した太陽光発電設備等の導入補助【再掲】	第三者所有方式を活用した太陽光発電設備等の導入を行う事業者に対し、導入費用の一部補助を行います。
風力発電関連産業の総合拠点化の推進【再掲】	響灘地区の充実した港湾インフラと広大な産業用地を活用し、風力発電関連産業の総合拠点の形成などを図る「グリーンエネルギーポートひびき」事業を推進し、今後主流となる浮体式洋上風力発電拠点形成に向けた検討を実施します。
次世代太陽光発電設備「ペロブスカイト太陽電池」の導入検討	次世代太陽光発電設備について、従来の太陽電池では設置が困難であった公共施設等への導入を検討します。
循環経済(サーキュラーエコノミー)システムの構築	日本最大級のリサイクル産業の集積地である北九州エコタウンを活かし、廃棄物等を循環資源として利用する循環経済(サーキュラーエコノミー)を推進します。
環境分野のビジネス創出・技術開発の支援	新規性、独自性、実現性の高い環境技術の研究や、サーキュラーエコノミー(循環経済)に資するビジネス創出に要する費用の一部を助成することにより、市内中小企業等に技術開発等の機会を提供し、事業化への支援を行います。

再生可能エネルギーの主力電源化

国の「第7次エネルギー基本計画」及び「エネルギー需給の見通し」にて示されている電源構成によると、2040年度には、その約半分を再生可能エネルギーが占める方向性(再生可能エネルギーの主力電源化)が示されています。

エネルギー需給の見通し(イメージ)



関連計画

計画名	URL(市HP)
北九州市環境首都総合交通戦略	https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/924_00410.html
北九州市自転車活用推進計画	https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/05500140.html
第2期北九州市循環型社会形成推進基本計画	https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/01100165.html
北九州市生物多様性戦略2025-2030	https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/924_02006.html
北九州市緑の基本計画	https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/05900212.html